

本競技会は、完全な無観客での実施となります。競技会を開催するにあたって競技役員、選手、保護者の方々のご協力があって成り立っています。それぞれの感染対策を徹底した上で、参加していただけるようにお願いします。北陸上競技場は、建物の構造上、外部から競技の様子を見ることが出来る場所があります。しかし、その場所周辺に観戦者が集中しており、現在の状況を考えますと感染対策として不十分であるとの指摘をいただきました。競技会を安全に実施していくために、それらの場所での観戦についてもご遠慮ください。

観戦している場合には、お声をかけさせていただきます。今後の競技会の開催にも関わってくる部分でもありますので、ご理解ご協力をお願いします。

※引率者（各所属1名）は、スタンドで待機することが可能です。学校（所属）受付をした際に申し出ていただき、引率者用リストバンドを受け取ってください。入場は正面南側階段からの入場になります。（マスク着用を徹底する）

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2021年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会の申し合わせ事項によって行われる。

2 競技場の使用について

- ウォームアップ場は、パロマ瑞穂北陸上競技場の指定時間帯、及びレクリエーション広場とする。ただし、棒高跳・砲丸投の練習については、競技開始前に各ピットで競技役員の指示によって行う。
また、各練習場の練習については競技役員の指示に従うこと。別紙、ウォーミングアップ可能時間帯を参照のこと。
- 競技場のトラックは、出場競技者に限り、大会準備に支障のない範囲で競技開始15分前まで使用できる。
- パロマ瑞穂北陸上競技場は全天候舗装なのでスパイクの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳は12mm以内とする。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の寸法に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクの数は11本以内とする。
- 更衣は、更衣室を利用する。更衣のみに利用し、荷物は置かないこと。
- 救護本部はパロマ瑞穂北陸上競技場内1階医務室に設置する。

3 競技者の招集について

- 招集所は、各種目ごとに異なるので、招集所からの動線（別紙）で必ず確認すること。
- 招集完了時刻は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	40分前 ※棒高跳 70分前	30分前 ※棒高跳 60分前

(3) 招集の手順について

- 競技者は招集完了時刻までに招集所に集合し、点呼を受けること。その際、競技役員にアスリートビブスの確認を受ける。決勝はすべて競技役員の誘導に従って入場すること。（予選は誘導しない。また、携帯電話や通信機器及び音楽再生機器等は持ち込めない）
- 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものととして処理する。

4 競技運営について

- (1) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。
- (2) 予選におけるトラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、主催者が公平に抽選し、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の準決勝以降とフィールド競技の決勝については、主催者が公平に抽選し、その結果を番組編成掲示板に掲示する。
- (3) レーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンは空ける。
- (4) 掲示方法は写真判定(1/100秒)とする。タイムによる決勝進出者の決定について、同記録(1000分の1)があり、レーン数が不足するときは、抽選(競技規則TR21)を行う。抽選は、番組編成員が該当者をアナウンスにより招集して行う。該当者は、アナウンスにより10分以内に本部へ集合する。進出決定者の発表は、アナウンスで行う。
- (5) 本競技会は、不正スタート1回失格を適用する競技会として実施する。(競技規則 TR16.7)
- (6) スタートの合図は英語とする。(「On Your Marks」「Set」)
- (7) 短距離では事故防止のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- (8) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は競技役員の指示に従うこと。

5 競技場の入退場について

- (1) 別紙で導線を確認すること。係員の指示があった場合は、その指示に従って行動すること。
- (2) 決勝の入場は競技役員の誘導に従って入場する。(予選は誘導しない)
- (3) 退場は下記による。
 - ・トラック競技 決められた退場口(別紙で確認)から退場する。
 - ・フィールド競技 決められた退場口(別紙で確認)から退場する。競技役員の指示・誘導による。

6 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは配付されたままの大きさとユニフォームの胸・背部に確実につける。
- (2) 800m以上の長さのトラック種目に出場する競技者は、招集時に腰ナンバーカード(ビブス)標識を貸与する。ランニングパンツ左右の上部やや後方につけること。(招集時に受け取り、終了後直ちに係に返却する。)

7 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

	練習	1	2	3	4	5	6	7
男子走高跳	1.50/1.70	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	以降 3cm
女子走高跳	1.30/1.50	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	以降 3cm
男子棒高跳	フリー	2.30	2.50	2.70	2.90	3.10	3.30	以降 10cm
女子棒高跳	フリー	1.80	2.00	2.20	2.40	2.60	2.80	以降 10cm

練習の高さを2段階に設定し、希望により実施できるものとする。

- ① 走高跳・棒高跳は、最後の1人になり優勝が決まるまでは、上表の上げ幅を変えてはならない。
- ② 第1位を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cm きざみとする。
- ③ 練習の高さを2段階に設定し、希望により実施できるものとする。
競技者は、その時間内で競技役員の指示のもと自由に練習してよい。

8 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者側が用意したものを使用する。ただし、棒高跳のポールに限り個人所有のものを使用することができる。

9 表彰について

- (1) 各種目第1位から第8位までに賞状を授与する。賞状は正面入り口に取りに来る。

10 商標について(商標は「競技会における広告及び展示物に関する規定」による)

(1) 競技場内に商標名の付いた衣類・バッグ等を持ち込む場合、以下の規定を守ること。

- ① 上半身の衣類・・・製造会社のロゴ: 大きさは四角形の面積 30 cm²以内、文字は縦4cm以内、ロゴ全体で縦5 cm以内とする。製造会社の表示は1ヶ所のみとする。ただし、トレーニングウェア上衣、T シャツ、トレーナー、レインジャケットの製造会社名/ロゴ面積は 40 cm²以内とする。
- ② 下半身の衣類・・・製造会社のロゴ: 大きさは四角形の面積 20 cm²以内の長方形、文字は縦4cm以内のものを1ヶ所とする。
- ③ バッグ・・・製造会社のロゴは、2ヶ所に取り付けることができる。それぞれの面積は 25 cm²以内のものとする。

(2) 競技役員に指摘された場合はその指示に従う。

11 競技用シューズの規定について

- (1) スパイクピンの長さは9 mm 以内。ただし、走高跳・やり投は 12mm 以内とし、スパイクピンの先端近くで少なくとも長さの半分は、4 mm 四方以内でなければならない。スパイクピンの数は 11 本以内とする。
- (2) 使用するシューズについては、競技規則 TR5. 2/TR5. 3/TR5. 4/TR5. 5/TR5. 6 を適用する。ただしフィールド競技用として小売りされているシューズについては競技規則 TR5. 5 の適用を除外する。
- (3) 規定外シューズ使用者の扱いについては「失格扱い」とする。
競技前に確認した場合は、そのシューズの使用を認めない。招集後に規定外のシューズの使用が確認された競技者は、失格の扱いとする。

12 その他

(1) 記録の発表について

アナウンスで発表する。

なお、記録発表のアナウンスが行われた時刻を正式発表の時間とする。

(2) 応援について

無観客のため、応援はしない。

(3) パロマ瑞穂北競技場のテント及びシートの設置については、指定された区域のみとする。(シート固定のテープは養生テープのみとする。)また、競技場内のテント・シート設置は禁止する。

※全国大会(U-16日本選手権)の標準記録を突破した学校の顧問の先生、各所属の代表者は、全国大会受付室(北陸上競技場西側スタジオ)で担当より説明を受けてください。

県選抜リレーの代表選手については、競技終了後放送で発表致します。該当選手、各所属の代表者は、全国大会受付室までお越しください。今後の練習会の説明、ユニフォームの採寸などを行います。